

第4回 固定電話サービス移行円滑化委員会 参考資料

第2回・第3回会合における 追加質問への回答

令和7年12月1日

目次

第2回・第3回会合における追加質問

- ✓ NTT東日本株式会社・NTT西日本株式会社に対する質問…………… 3
- ✓ 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟に対する質問…………… 6

第2回会合における追加質問への回答

NTT東日本株式会社・NTT西日本株式会社への 質問に対する回答

質問1

ブロードバンド上のIP電話サービスへの移行に対するインセンティブを競争中立な形で行うことに関し、第2回委員会にてNTT様からはアイデアがないとご回答がありましたが、メタル固定電話からのLNP（番号ポータビリティ）に対してキャッシュバック等の形でインセンティブを与えるのはどうでしょうか。

(回答)

- 利用者からのサービスの申込に対するインセンティブは、当該サービス提供事業者がサービス提供の収益を原資にして設定するものであるため、他のサービス提供事業者もしくはその利用者に対して、当社がインセンティブを与えることにはならないと考えます。

質問2

メタル固定電話から光回線電話に移行する場合やワイヤレス固定電話／モバイル網固定電話を提供する際に携帯電話／GPSの受信状況が悪い場合にあって、ONU等の機器を小型・軽量化してメタル回線の保安器に変わる形で屋外設置し、電源はPoE(Power on Ether)などと同様に電話の屋内配線を通じて屋内側から供給するように技術開発すれば、光引き込み工事を行うのと比べて利用者との調整がずっと簡単になるとともに、戸ごとへの光引き込みの困難な集合住宅にも一部対応可能なのではないかと思います。いかがでしょうか。

(回答)

- 光の提供が困難かつモバイルの提供が困難な地域・建物におけるサービス移行の方法について、ご指摘のような建物内のメタル配線の活用も含め引き続き検討していく考えです。
- なお、その際には、利用者利便の確保や実現可能性、経済性等の観点から上記のような手法の他、衛星等の新技術の活用も含め、様々な案について、評価していくことが必要と考えます。

第3回会合における追加質問への回答

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟への 質問に対する回答

質問3

日本ケーブルテレビ連盟様のスライドにありました、電柱の撤去に関連しまして、以下の情報をご教示ください。
・ケーブルテレビ会社様の添架のNTT様と電力会社様の割合

(回答)

- 2023年度末時点の状況について、昨年度、連盟加盟152事業者からの回答結果が以下のとおりです。

電力柱：NTT柱≒3.4：1

(内訳) 電力柱：7,003,313本

NTT柱：2,069,550本

(参考：事務局補足)

- 2021年度末時点における全国の電柱数

電力柱：2,213万本

NTT柱：1,181万本

(出典) 令和4年度 第2回 無電柱化推進のあり方検討委員会 国土交通省道路局 資料